

平成28年度 議会報告会分科会に寄せられた意見・要望(総務委員会)

資料No.6-2

全体 番号	番号	要望先	意見・提言・要望等 取扱結果「A」…委員会として調査・研究、「B」…行政評価の評価対象、「C」…その他聞き置く	ブロック	分科 会	委員会の 取扱結果	取り扱い結果に至った理由等
		議会・市					
1	1	議会	・防災無線の更新が、平成34年までかかると聞いたが、もっと早く出来ないか。防災無線は主に外にいる人を対象としているとの事だが、高齢化に伴い家の中にいる人への伝達方法を検討してほしい。 同様意見5件、アンケートにも同様意見。	西部	1	B	行政防災無線については、デジタル化が計画されているため、行政評価の中で取組の確認を行う。
2	2	議会	・災害時には防災行政無線に頼ることが多いが聞こえにくい実態がある。早い対応で強い取組みを望む。	北部	1	B	〃
3	3	議会	・三種では、防災無線の方向を変えるなどして、改善されたという声を聞く。但し、地形が複雑なため総てがカバーできている訳ではない。	西部	1	B	〃
4	4	議会	・屋外放送が設置されていても何も聞こえず、又は言葉がはっきりしない。早口等、せつかく設置されていてももったいない。場合も考えてほしい。	竜東	1	B	〃
5	5	議会	・消防無線について。現場を自ら良く見ることを、更に充実させていって欲しい。	飯田	1	B	〃
6	6	市	・上久堅では個人情報の問題は特別無い。ほとんどの家庭情報把握できている。防災無線でのきちんとした伝達が必要。	竜東	1		
7	7	市	・災害情報の伝達が大切。防災無線が聞こえづらい為、千代では宝くじの助成金を使いデジタル無線を本部6台、12地区に2台ずつ設置した有効である。	竜東	1		
8	8	市	・ケーブルの結チャンネルの警戒情報の掲載に発表、発令あるいは、あるいは警戒情報発信時刻の掲載が欲しい。	遠山	1		
9	9	議会	・ライフラインが切れた時ときでも情報が誰でも取れる状況をつくるべきではないか。また、アマチュア無線は有効ではないか。	遠山	1	A	「地域における緊急情報の確実な伝達」を調査研究テーマとする。
10	10	議会・市	・避難所開設情報など地域への伝達が不十分。高齢者には携帯メールなどの伝達方法では伝わらない。広報をいかにするかが大切、今後考えていかなければならない。	竜東	1	A	〃
11	11	市	・火災発生時における防災行政無線や安全安心メールでの広報を、個人名で行う様にすべきである。	北部	1		
12	12	市	・9月20日は、分団長からの指示により水防の資機材の準備をして自宅待機をした。災害時、消防の役割としては避難誘導が主となるのではないか。この時は、情報が多すぎて、何に従ってよいかわからない場面があった。例えば火災の情報もそうだが、情報は出来るだけピンポイントの情報を流してほしい。	飯田	1		
13	13	市	・避難準備情報や避難勧告などの情報を出されても、対応に困るのが現実。もう少し正確に把握をして詳細な情報を願いたい。	飯田	1		
14	14	議会・市	・本当に避難しなければならない時に、避難指示を誰の判断で誰が出すのか。これを明確にしておくことが肝心。議会でも訓練を行ったとのことだが、災害時、議会は開かれず議員は一市民として対応するのはではないのか。	飯田	1	C	議会に対する部分は、議会として聞きおくものとする。
15	15	市	・水防の訓練で、消防とまちづくりの連携、情報伝達のあり方に疑問をもった。情報共有のあり方に、工夫改善の余地があるのではないか。	飯田	1		
16	16	市	・短時間大雨情報について、市の雨量測定はどのようになされているのか。一地区内で何ヶ所かのモニタリングをする場所があるのかどうか。ゲリラ豪雨など短時間大雨雨量の把握のしかたはどうなっているのか。	飯田	1		
17	17	市	・飯田市の避難準備情報等出し過ぎの気がする。市でも防災の専門家を養成してほしい。	竜東	1		

平成28年度 議会報告会分科会に寄せられた意見・要望(総務委員会)

資料No.6-2

全体 番号	番号	要望先	意見・提言・要望等 取扱結果「A」…委員会として調査・研究、「B」…行政評価の評価対象、「C」…その他聞き置く	ブロック	分科 会	委員会の 取扱結果	取り扱い結果に至った理由等
		議会・市					
18	18	議会・市	・緊急情報の伝達で、レッドゾーン等の方には安心ホットラインを設置して、まず情報を伝える事を考えたかどうか。(強制的に流して知らせる) ・普通の日、伝達完了まで40分～1時間かかってしまう。	竜東	1	A	「地域における緊急情報の確実な伝達」を調査研究テーマとする。
19	19	市	・避難準備情報の自主的避難は、まちづくりが指示するのでしょうか。曖昧で判断が難しいです。	飯田	1		
20	20	市	・災害情報サイトは良かった。避難指示と勧告の区別が分かりにくいので、指示は命令というように強い表現が良い。	北部	1		
21	21	市	・H28年に市の危機管理室の体制が市としては整っているという話は理解できた。	中部	1		
22	22	議会・市	・飯田市危機管理室から出る各種情報のありがたさを9/20(火)の際に痛感したと同時に、NHKテレビの雨雲レーダーを見ながら自主防災会の検討も大事かと感じました。9/20(火)の自主防災会の立ち上げと避難所開設の際に地元議員の方の迅速な行動は立派だと思いました。感謝したいと思います。	飯田	1	C	議会に対する部分は、議会として聞きおくものとする。
23	23	議会	・高齢などで組合役員を引き受けられず、組合から離れざるを得なくなった方たちの災害時の安否確認を、どうしたらよいか今後の課題。 同様意見3件。	中部	1	A	「災害時における高齢世帯や未加入世帯等の避難対策」を調査研究テーマとする。
24	24	議会	・高齢等で自分だけでは避難できない方もおり、災害時に住民が避難してくるのを「待つ」姿勢で良いのだろうか。さりとて、民生児童委員に任せるだけで良いのかが課題である。	中部	1	A	〃
25	25	議会	・今回の台風での避難の際に感じたことだが、高齢者や認知症、身障などで地震で避難できない人への対応をどうすれば良いのか課題。	飯田	1	A	〃
26	26	市	・ライフラインが途絶えたとき、複合的に災害が起きた時等の備えが十分であるか検証して、災害発生前に備えを強化して欲しい。	遠山	1		
27	27	市	・橋南では、避難所(公民館)に(施設の安全性について)住民の信用がない)ので、改善が必要。	飯田	1		
28	28	市	・災害時には、防災拠点の充実が大事ではないかと思えます。日頃の災害に備えての準備ができていないので、反省をしています。	竜東	1		
29	29	市	・日赤奉仕団員の立場から「人に言うよりも我が家から」という事で、家具の転倒防止、火災報知器や消火器の設置などを行った。9月20日の台風の際には、家族4人で自宅が災害にあったらどうするかについての話し合いを持った。各家庭で話しあっておく事は重要と思う。自宅の駐車場が40年前から避難所となっているが、車が増えたりで状況が変わっている。この見直しが必要。	西部	1		
30	30	市	・避難場所を知らない人が多い。他県では、気持ち悪いほどの数を設置している例もある。避難所の表示数をもっと増やすべきでは。	西部	1		
31	31	市	・9月20日の台風の時は、元白山神社の例祭で役員が揃っていて、避難所の開設はスムーズに行えて6世帯9人が避難した。マスコミの取材が入ったが、避難した方が対応した。食事は、地区で備蓄してあった味噌汁とコンビニのおにぎりを提供した。避難所にはテレビがない為に情報がとれず、帰宅のタイミングがつかめなかった。こちらから指示を出す前に、当事者が自分達の判断で帰宅した。これでよいのかどうか。	飯田	1		
32	32	市	・今回の台風での避難の際に感じたことだが、実際に避難してきた方の中で、身体が悪くて床に寝られない方がいた。床に腰をおろしたり、寝たりすると、自分の力では立ち上がれない。避難所に簡易ベッドが必要ではないか。	飯田	1		

平成28年度 議会報告会分科会に寄せられた意見・要望(総務委員会)

資料No.6-2

全体 番号	番号	要望先	意見・提言・要望等 取扱結果「A」…委員会として調査・研究、「B」…行政評価の評価対象、「C」…その他聞き置く	ブロック	分科 会	委員会の 取扱結果	取り扱い結果に至った理由等
		議会・市					
33	33	議会	・防災訓練のあり方を考えるべき、危機感がない。訓練のための訓練になっている。訓練でない訓練を考えていくべき。 同様意見3件。	竜東	1	B	防災訓練の在り方については、多くの意見があるため、行政評価の中で確認を行う。
34	34	議会	・豪雨災害の訓練が現在伝達方式だけの形式的な訓練になっている。市へ議会から提言していただき実践的な訓練を検討願いたい。	竜東	1	B	〃
35	35	議会	・最近、防災訓練がマンネリ化の感がある。訓練のための訓練でなく、訓練に参加しない人、できない人にも働きかけが必要ではないか。	中部	1	B	〃
36	36	市	・防災訓練も1人ひとりが本気になってやってほしい。例えば、スリッパでくる、リュックサック等に水、食べ物を入れてくる。	竜東	1		
37	37	市	・羽場地区が他地区に比べて「災害に強い地域づくり」を目指して2回の訓練をしていることがわかって良かったと思います。	飯田	1		
38	38	市	・橋北は防災体制が整っていない。防災訓練もまちづくりの一部の人のみの参加で行っているような状態。現在、体制の整備に向けて取組が比較的進んでいる羽場・丸山の資料をもらい、検討を始めたところ。そんな状態なので、地区で実際に避難の必要な状況が起きたら、どうしてよいかわからず、困っている。	飯田	1		
39	39	市	・これまでの防災訓練のあり方に疑問があったので、危機管理室の指導を仰いで今年からやり方を変えてみた。まずは、具体的に避難所をどのように開設するかから始めて、高齢者や病人、子どもなどの災害弱者への対応を行った。その中で、力仕事の場面で若い人の協力を頼んだが、消極的であった。まちづくりの役員は2年で代わってってしまうことも含めて、本番になった時に役員がどこまで出動出来てどこまで対応できるか、不安である。旧市5地区での共同の防災訓練も必要ではないか。 同様意見2件。	飯田	1		
40	40	市	・5地区合同の避難訓練の実施で共有化を。	飯田	1		
41	41	市	・遠山は山・川ばかりでどこへ逃げていいかわからない。地域の人が防災について勉強する学習会をお願いしたい。	遠山	1		
42	42	市	・9月20日の時には、5軒のレッドゾーン居住者への連絡はとれたが、中に「避難所の東野公民館はどこですか」と聞く方があり、ショックを受けた。	飯田	1		
43	43	市	・災害は何れ記憶から消え去ります。唯一、災害を最小にするのは、教育であります。小学生への防災教育が大切と考えます。	飯田	1		
44	44	市	・レッドゾーンが指定されて年数が経過しており、状況が変わっている場所があるのではないかと。現実の対応として、避難情報が出されてもまちづくり委員会としてしっかりと対応は難しい。防災訓練も、本番に役立つような訓練は出来ていないのが実態。 同様意見5件。アンケートにも同様意見。	飯田	1		
45	45	議会・市	・箱川地区は70戸のうち26戸がレッドゾーンに指定されていて、住民の防災に対する意識は高い。9月20日には、センターに避難所を開設したが、この26戸に情報を伝えるのが大変。箱川の河川の水位が上がってしまう事が時々ある。災害の想定数値の見直しが必要ではないか。	西部	1	A	「地域における緊急情報の確実な伝達」を調査研究テーマとする。
46	46	市	・現在のレッドゾーン以外にも危険な場所がある。レッドゾーンの見直しが必要ではないか。	中部	1		
47	47	市	・レッドゾーン（準も含む）の見直しをしてください。古すぎて実態にマッチしていない。宮の上地区では苦情が出ています。	飯田	1		
48	48	市	・土砂災害について レッドゾーンの見取り図（地図の拡大図の作成等）	西部	1		

平成28年度 議会報告会分科会に寄せられた意見・要望(総務委員会)

資料No.6-2

全体 番号	番号	要望先	意見・提言・要望等 取扱結果「A」…委員会として調査・研究、「B」…行政評価の評価対象、「C」…その他聞き置く	ブロック	分科 会	委員会の 取扱結果	取り扱い結果に至った理由等
		議会・市					
49	49	市	・防災計画策定し各戸へ配布した。実態とそぐわない面もある。助け合いマップも作成した。個人情報 報の問題は田舎ではない。隣同士の助け合い役に立つ。	竜東	1		
50	50	市	・消防団の団員確保は急務である。 同様意見8件。アンケートにも同様意見。	遠山	1		
51	51	市	・消防団員の減少により大規模災害への対応できない。団員確保に協力をお願いしたい。	竜東	1		
52	52	市	・災害時に最も便利になるのは消防団。9月の防災訓練では、ほとんど出てきてくれたが、元々の団 員 数が少なく、火災には対応できても災害時には心もとない。消防団員の確保を。	西部	1		
53	53	市	・消防団員が減少しており、有事の際が心配。周りの若い方に声を掛けて入団してもらってほしい。	中部	1		
54	54	市	・消防団飯沼南班の詰所改築と車両更新の話があり地元は心強いが、団員がいない中で誰がどの様に 活用したらよいか。	北部	1		
55	55	市	・高校卒業後他地区へ出て行く人が多く、対象者がいても親が入団を断るケースがあり、団員確保が 困難で団員不足が深刻である。	北部	1		
56	56	市	・消防団の人員確保について、もう少し市としても協力をお願いしたい。	竜東	1		
57	57	市	・消防団の団員確保に力を入れて欲しい。	遠山	1		
58	58	市	・飯田市消防団に入団するメリットになるようなものを作って欲しい。例えば、他地域では住民税の 減税など。それらが、飯田市への移住・定住のメリットのひとつになれば。	遠山	1		
59	59	市	・あらかじめ水防が必要と分かっている場合は対応ができるが、土嚢(どのう)の数も限りがあり、 特に日中は団員の数も限られるため、急な水部対策は難しいのが現実。	中部	1		
60	60	市	・日赤奉仕団の訓練をしても、雨の日は参加者が少ない。団員数が少なく、炊き出しを何時までに やってほしいと言われても、対応できない場合がある。	飯田	1		
61	61	議会・市	・飯田市消防団の分団長は、必ず防災士の資格をとって退団すると聞いている。阪神大震災後、神 戸市の市議会議員は、全員ではないが防災士の資格をとって対応しているとのこと、飯田市の議員も 防災士の資格をとってはどうか。	飯田	1	C	議会に対する部分は、議会として聞 きおくものとする。
62	62	市	・防災、救急の資格取得者を増やしたいので協力と支援を。	北部	1		
63	63	市	・自助・共助・公助の境目があいまいであり、地域の自主防災組織をどう進めたらよいか。	中部	1		
64	64	市	・遠山地区は災害時共助に限界がある地域であるので、公助を強めていただきたい	遠山	1		
65	65	市	・今回の台風で各区長に現場確認を行ってもらったが、非常に危険でありやるべきでないと感じた。	竜東	1		
66	66	議会	・組合未加入問題は大きなテーマ。だが、基本は人命なので、災害時には加入・未加入に関わらず安 否確認は行っていきたい。	中部	1	A	「災害時における高齢世帯や未加入 世帯等の避難対策」を調査研究テ マとする。
67	67	議会	・組合未加入の問題 は防災についても影響があるが、賃貸住宅の住民の情報は住宅会社が持って いて、大家や持ち主が把握できず、心配をしているアパートのオーナーがいる。	西部	1	A	”
68	68	市	・防災拠点(公民館)などは高窓の硝子窓が多い。飛散防止の対策を行政で検討してもらいたい。	竜東	1		
69	69	市	・ガラスの飛散防止フィルム張りを推進しているが、費用についてまちづくり委員会等の支援を。	北部	1		

平成28年度 議会報告会分科会に寄せられた意見・要望(総務委員会)

資料No.6-2

全体 番号	番号	要望先	意見・提言・要望等 取扱結果「A」…委員会として調査・研究、「B」…行政評価の評価対象、「C」…その他聞き置く	ブロック	分科 会	委員会の 取扱結果	取り扱い結果に至った理由等
		議会・市					
70	70	市	・ガラス飛散防止フィルム貼りは、だいが定着してきたが、まだまだ一般の認知度は低い。日赤の分団では出来ない面もあり、指導を受けながら取り組んでいる状況。現段階では、まず第一避難所のフィルム貼りを早く終えたい。非常持ち出し品について、以前は乾パンを用意するようになっていたが、パサついて水分が必要となり、今は向かないとされている。毎日食べるものを少し多めに買って、冷凍して非常食に回すことを考えたほうがよい。	西部	1		
71	71	市	・データによると、飯伊では火事に遭う確率は2%だが、地震で被災する確率は74%。災害対策多機能車は飯伊には1台しかなく、すべての人は救えない。それぞれで自分を守れるよう、対策をすることが大切だ。	中部	1		
72	72	市	・ゲリラ豪雨時に151号線が川になった。豪雨の対策を考えてほしい。	中部	1		
73	73	議会・市	・ゲリラ豪雨が多発しており、県が設定している時間降雨量の基準を見直す必要があるが、議会としてその提案をしているか。	北部	1	C	議会に対する部分は、議会として聞きおくものとする。
74	74	市	・住宅の耐震調査を依頼する先がわからない。また、どのような業者が来るかわからず、家の中を見られてそれが外へ漏れることへの不安がある、といった事が高齢者同士で話題になった。	飯田	1		
75	75	市	・防犯灯がLED化されています。明るくて良いが、明るくなるとセンサーが働き、消える訳だが消えない。聞いてみるとセンサーが内蔵しているため、ASSY交換となると聞いた。この商品で良いかが疑問です。	竜東	3		
76	76	市	・地域に防犯灯が少なく感じます。もう少し明るさがほしい。	竜東	1		
77	77	議会	・橋北は既に高齢化率が40%を超えている。10年先に今ある一軒一軒がどうなるかを読んでゆかないと自治会がちゃんとできるか心配なレベルになってきている。また、空き家があるのに問題が多く使えない状況。空き家の連絡先だけでも空き家バンクにあげて、入りたい人をマッチさせ人を入れるような方策を考えて欲しい。	飯田	3	B	「空き屋対策」は、調査研究テーマに取り上げた経過もあり、行政評価において確認を行う。
78	78	議会	・田舎で暮らしたい若者は居る。リニアが開通すれば飯田は通勤圏にも成りえるので空き家バンクを有効に活用するように。	飯田	3	B	〃
79	79	議会	・空き家対策を早く進め欲しい。 同様意見3件。	飯田	2	B	〃
80	80	議会	・空き家が多いです。対策して下さい。 上村の工場が空になっておりますが、どうなっていますか？	遠山	?	B	〃
81	81	議会	・空き家調査をしたが、危険がある家屋をどうにかして欲しい。怪我をしてからでは遅い。	北部	1	B	〃
82	82	議会	・若い人が住む所があるか？それには空き家をいかに利用するか、市の方ではどのように考えているのか？市の方で、空き家をどのように進んでいるか？	飯田	3	B	〃
83	83	議会	・空地等の利用課題を考えてほしい。	西部	2	B	〃
84	84	市	・高校を出てからUターンを考えるのではなく飯田市から出ない方法を考えるべき。その為には高校生が自分のやることを見つけられる為にも地元で大学、短大、専門学校が必要。 同様意見4件。	飯田	3		
85	85	市	・地元で大学を。	北部	3		
86	86	市	・飯田に4年制大学の誘致を。	中部	1		
87	87	市	・Uターン、Iターンを考える前に、高校を出ても飯田に残ることを考えるのが先だと思います。まず、大学を作ることが必要だと思います。私の息子が2人おりますが、男だと外へ出るしか道がない。	竜東	3		
88	88	市	・地元の飯田女子短期大学は県外からの学生も多く、もっと大事にすべき。	飯田	3		

平成28年度 議会報告会分科会に寄せられた意見・要望(総務委員会)

資料No.6-2

全体 番号	番号	要望先	意見・提言・要望等 取扱結果「A」…委員会として調査・研究、「B」…行政評価の評価対象、「C」…その他聞き置く	ブロック	分科 会	委員会の 取扱結果	取り扱い結果に至った理由等
		議会・市					
89	89	市	・組合、自治組織への加入問題について、持ち家はだいたい入ってくれたが、アパートの住人はほぼ無理と思う。30軒ほど新たに賃貸住宅を建てた所での勧誘の文句は「組合・自治会に入らなくてよい」だった。その近くに更に10軒ほど出来た所も、それを見て加入しない。これがどんどん外へ広がっていくことが懸念される。市職員は、この問題への対応で「加入してもしなくてもよい」と簡単に言うのではなく、加入を勧める姿勢が必要ではないか。	西部	1		
90	90	市	・地区のコミュニケーションが少ない、老人クラブ等参加者少ない、アパートが多く組合加入少ない地区行事のごみ拾い道づくり等参加者少ない。	西部	3		
91	91	市	・地域組合に入ると入会金、維持費がある。市の補助金で組合費の対応を願いたい。	西部	3		
92	92	議会	・議会は若者の声を直接聞いているのか。行事が多すぎ。行事を増やすなら減らすことも考えないと。	飯田	3	C	議会に対する部分は、議会として聞きおくものとする。
93	93	議会	・各まちづくりへのパワーアップ交付金の配分を組合加入率の高低も考慮し、見直しをして欲しい。	遠山	1	B	パワーアップ交付金の配分については、多くの意見があることから、行政評価において確認を行う。
94	94	市	・新しいごみ焼却施設では、ビニール・プラスチックも燃せると聞いたが、どうなっているか。	西部	1		
95	95	市	・「埋め立てごみ」の概念を考え直すべきではないかと思えます。処分場は必ず限界がくるのだから、根本的な解決にはなっていないのでは？高性能の焼却炉等でとにかく「残さない」方向へ考えていく時期だと思えます。袋代ばかりあげても、不正不法投棄が増えるばかりです。一杯になってしまった処分場はどうすることもできず、死んだ土地になってしまい、その地区に住んでいる方々にもお荷物だと思えます。	飯田	3		
96	96	市	・他の地域に比べて、ごみの袋代が高すぎます。	飯田	?		
97	97	市	・アップルロード 上殿岡交差点～上郷スバルの交差点までの道路のセンターの草、ポイ捨てのゴミ非常に目に付く。	西部	3		
98	98	市	・1級河川の年1回の清掃は、各戸より負担金を集めて、重機でもいれてもらわないと組長が出席して対応しても美化されないのでは？	北部	2		
99	99	市	・かつて有った「すぐやる課」みたいな機動力のある行政の対応が求められているということだ。	遠山	3		
100	100	議会	・議会や議員に期待することとして、議員数の削減、市職員の作業量アップ、多能化。	西部	3	C	議会に対する部分は、議会として聞きおくものとする。
101	101	議会	・市の財政が厳しい中での、市長や議員さんの報酬の減額を検討してほしい。	竜東	3	C	”
102	102	議会	・市職員の削減（事務職員）	西部	3	C	議会として聞きおくものとする。
103	103	市	・市役所職員の募集を市内住民に限定すれば増となる。（近隣町村はそうやっているらしい）	竜東	3		
104	104	市	・行政サービスが市職員の仕事も大事であるが、生産的第一な発想はやめて、歴史等から何か飯田市の目指すことを考えたい。	飯田	3		
105	105	市	・市の無駄使いを検証する、選挙ポスター掲示板が多すぎる、	西部	3		
106	106	市	・地元事業所の建設工事の受注が減少してしまった。少ない就労の場所でもある。地元事業所が工事受注出来るような仕組みを考えてもらいたい。	遠山	3		
107	107	市	・まちづくり委員会が発足してから10年がたつ。パブリックコメントに意見がなかったり議員の立候補者も少ない。また自治会の役員も担い手に苦勞している。社会教育などで地域自治について教える必要があるのではないか。	西部	2		

平成28年度 議会報告会分科会に寄せられた意見・要望(総務委員会)

資料No.6-2

全体 番号	番号	要望先	意見・提言・要望等 取扱結果「A」…委員会として調査・研究、「B」…行政評価の評価対象、「C」…その他聞き置く	ブロック	分科 会	委員会の 取扱結果	取り扱い結果に至った理由等
		議会・市					
108	108	議会	・地域自治組織について見直しが必要である。次代の担い手づくり、持続するような地域づくりのためにも、社会教育機関である公民館の位置づけを見直して頂きたいと思います。	西部	2	B	導入後10年を経過する「地域自治組織の在り方について、多くの意見があることから、行政評価において確認を行う。
109	109	市	・経常収支比率91%は少し多すぎ。議論されたい。	遠山	1		
110	110	市	・公共施設は、優先順位をつけて改修すべきである。その場合は、各分野施設ごとに順位をつけないと無理がある。	遠山	2		
111	111	市	・市行政がＩＣを中心に情報提供を行っている。高齢者に優しくない。	北部	1		
112	112	市	・リニアを見据えた計画を全体を通して考えていく必要がある。	西部	2		
113	113	議会	・市議の皆さんにもそれぞれの意見を聞かせてください。	竜東	1	C	議会に対する意見
114	114	議会	・提案を出しながら、参加者の意見を聞きやすく、話しやすい進め方の研究が必要と思われた。	竜東	1	C	〃
115	115	議会	・スピード感が無いと思います。(特に防災の件) 委員長を始め、逃げが多いと思います。具体的な事、問題解決の決意がほとんど無い。	西部	1	C	〃
116	116	議会	・第1分科会、司会の方が意見に対して方向が違う方へ行ってしまった。質問に対して向き合う方向が望ましい(上山区長の質問)。その為の地区での話し合いであると思う。	中部	1	C	〃
117	117	議会	・分科会の「災害に強いまちづくり」については、議員は一般質問でも多くの方が市へ質問し、又視察も重ねて課題・問題点を高いレベルで承知していると思う。そういうことから、自らテーマに沿ったまちづくりを進めるにあたっての課題を整理し、住民にぶつけ意見をもらうようにして欲しい。	北部	1	C	〃